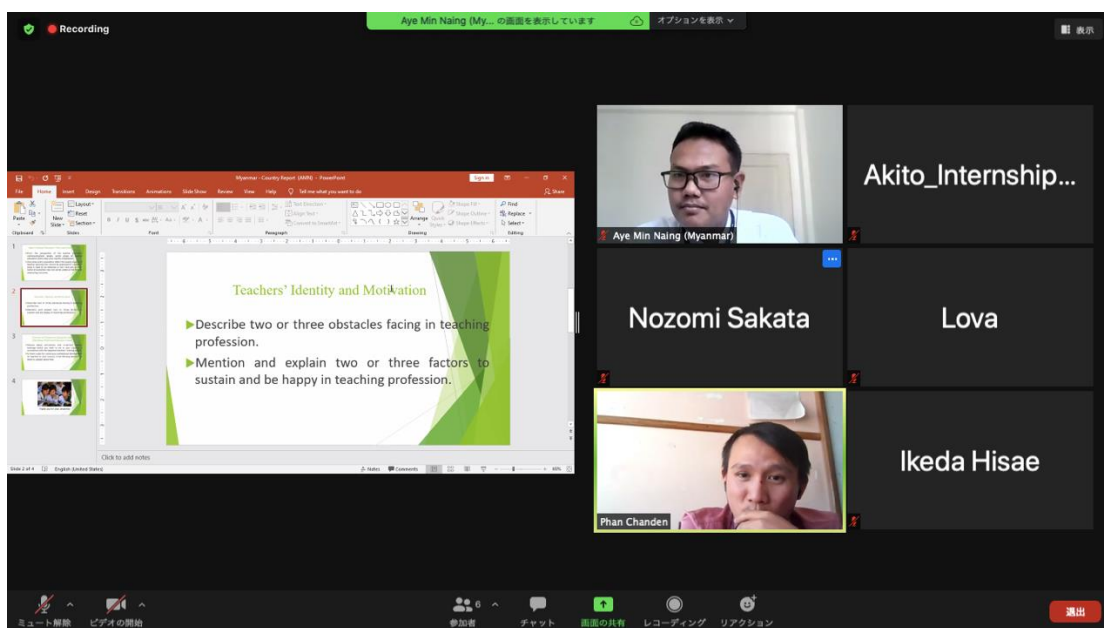


2月3日（水）

本日、研修員は事前にオンデマンドで配信された教員養成や教員評価についてのビデオや資料を基に議論を行いました。

最初に、教員養成のカリキュラムデザインに関して、「教員養成の政策はどこに重点を置いているのか」について共有しました。研修員の多く国が明確な教員評価の政策がないために、教員の給与が低いという問題があり、また、経済的な発展に伴って、他の職業の給与が教員よりもアップしており、教師としてのキャリア選択が近年魅力的で無くなってきている実態が共有されました。教員養成及びその評価に対し、研修員からは「昇進・昇格といったモチベーションの向上の側面から強調している」という意見が挙がりました。



次に、数値で示すことのできない教師の質をどのように政策に反映しているかという議論では、「教員養成の成果は短期間では数値として出てこないことから、長期的な視点で成果を見守る政策を反映する必要がある」また、「数値として表すことが難しいゆえに、賞与や研修の数から、段階としての評価を行っている」との意見もあった。

多くの国で資格の付与、研修方法といった教員評価制度に課題があり、それらが十分に給与に反映されていないために、教員のモチベーションが向上せず、教師の質的低下が起きていることを課題として挙げられました。加えて、地域・保護者が教員に対して持つ態度が、以前と比較して悪くなっており、それらは給与の側面や社会的要因が関係しているという問題も挙げられました。

良い雰囲気の中、研修員たちの積極的な議論が交わされ、途切れることなく無事にオンライン研修が行われました。